

2023年7-9月期 GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二)は、内閣府より11月15日(水)に公表予定の2023年7-9月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2023年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.1%(年率+0.4%)と予測します。

2023年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.1%(年率+0.4%)と小幅プラス成長を予測する。

民間最終消費は、同+0.4%と予測する。新型コロナ5類移行後初の夏季休暇となり、飲食・宿泊などのレジャー関連消費が回復したものの、物価高の下押しから前期の落ち込みを取り戻すには至らないとみる。設備投資は、同+0.6%と予測する。デジタル化・サプライチェーン強靱化・人手不足対応などを中心に企業の投資意欲は強く、高水準の設備投資が続いたとみる。

輸出は、同+0.8%と前期から鈍化するものの、2四半期連続の増加を予測する。中国向け輸出が緩慢な回復にとどまるなか、米欧向け輸出が自動車を中心に堅調を維持した。輸入は、同+1.4%の増加を予測する。外需は▲0.1%ポイントのマイナス寄与を見込む。

図表 2023年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2022年		2023年		
		7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP		▲0.3 (▲1.2)	0.1 (0.2)	0.8 (3.2)	1.2 (4.8)	0.1 (0.4)
	季調済前期比年率					
民間最終消費		0.0	0.3	0.6	▲0.6	0.4
民間住宅投資		▲0.1	1.0	0.7	2.0	▲1.7
民間企業設備投資		1.5	▲0.7	1.6	▲1.0	0.6
民間在庫	寄与度	0.1	▲0.4	0.3	▲0.2	0.0
政府最終消費		▲0.1	0.2	0.1	0.0	▲0.1
公的固定資本形成		1.0	0.1	1.4	0.2	▲1.4
財・サービス 輸出		2.4	1.5	▲3.8	3.1	0.8
財・サービス 輸入		5.5	▲0.1	▲2.3	▲4.4	1.4
内需	寄与度	0.3	▲0.3	1.1	▲0.6	0.2
民需	寄与度	0.3	▲0.3	1.0	▲0.6	0.3
公需	寄与度	0.0	0.1	0.1	0.0	▲0.1
外需	寄与度	▲0.6	0.3	▲0.3	1.8	▲0.1
名目GDP		▲0.9 (▲3.6)	1.2 (5.0)	2.2 (9.0)	2.7 (11.4)	0.9 (3.6)
	季調済前期比年率					
GDP デフレーター	前年同期比	▲0.4	1.2	2.0	3.5	5.0
国内需要 デフレーター	前年同期比	3.2	3.4	2.8	2.4	2.1

注：シャドー部分が今回の予測値。
出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 堂本健太 菊池紘平

電話:03-6858-2717

メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部

メール:media@mri.co.jp
